

防災訓練として、避難所開設訓練が行われ、受付、体育館のレイアウト、間仕切り設置、段ボールバット設置など、避難所の開設を体験しました。前日の2月1日には、午前6時50分震度6強の地震が発生したという想定で、安否確認札を使用した安否確認訓練も行われました。避難所は、基本的に避難者自身で運営を行うため、皆さん真剣に取り組んでいました。



受付訓練



▲役員の方が中心になり、避難者名簿を用いた受付訓練をおこないました。今回は限られた人数ですが、発災時には混乱が予想されるため、訓練は重要と話されていました。

間仕切り設置訓練



▲町内会ごとにグループになり、間仕切りの組み立て・設置をしました。説明書を見ながら組み立てることは簡単ではない、という感想でしたが、更衣室に使えるので、少し安心したという感想も聞かれました。

段ボールバット設置訓練



▲段ボールバットを組み立て、アルミ製のマットと段ボール製の間仕切りを設置しました。実際に座ったり、体育館に設置できる数や備蓄の数などを確かめたりしていました。

参加者の声

- ・避難所開設・運営をいきなり自分たちだけでやることを考えると、初めてでは何もわからないし、難しい。訓練の重要性がよくわかった。
- ・体育館は狭い。ぎゅうぎゅうになるだろうし、全員は入れない。どうすればいいのか・・・これからしっかり議論していきたい。

主催者の声

- ・大地震が発生した場合、消防署・消防団は救助活動に就くため、地域や避難所にはいない。避難所は皆さんで運営することを理解しておいてほしい。
- ・あいにくの天候だが、災害時は予定通りにいかないことが当たり前なので、今日はその練習としての体験と勉強と考え、今後につなげてほしい。